

日本初の音楽×セラピー×コーチング

メグリア

～人生を共に奏でる～

あなたの求める夢と一緒に紡いでいく

未来の自分に出会う旅をする



日々の様々な感情はあなたの音楽そのものである。

儂さや激しささえも美しい旋律となりあなたの心に流れ続ける。

それこそがあなたの光になり価値であること。

やがてその光がめぐり逢い広がる時、きっと世界は美しい音で溢れるだろう。

音楽は究極の愛のコーチングと私は思う。

Improvisation ピアノ演奏 × コーティング × 香りインスピレーション × 未来過去イメージング

そして、進化した共感覚メソッド

演奏力はもちろんのこと、譜面の再現に留まる、他者基準の演奏者とは一線を画す、究極の愛とつながるインプロビゼーション(即興)・プレイヤーSayoko 氏。レイキやヒーリングの次元ではなく、その場でクライアントの心の扉を開け、人生というドラマを開花。相互に潜在意識にアクセスしながら、心の盲点を解き放ち、人生のクライマックスから“今”を輝かせ、本当の幸せ、生きる意味、そして成功に導く香りともロディの共感覚能力アプローチ。人生そのものを共にメイキングしてしまう、あまりに強烈な特殊メソッド。

(プロデューサー談)

「五感の旅へようこそ、あなたの進化に寄り添う魂のコーチング」

究極の共感覚とは？

聴覚：自己愛とつながるインプロビゼーション(即興)ピアノ演奏×記憶介入

視覚：特殊アーティストによる絵画から紐解く未来のストーリー発想力

味覚：Sayoko によるおもてなしで、未来の姿へ乾杯

触覚：音の手触りを感じ、夢が叶った姿のリアリティー体験

嗅覚：音楽からインスピレーションを得た Sayoko セレクトの香りで、願望実現、未来記憶強化



【プログラム概要】

◆第一楽章・序章◆

『人生のクライマックスは自分で決める～主題はリソルート～』

- ・人生への問いかけ
- ・生まれてきた意味の再創造
- ・人生のエンディング、死ぬ前に聴きたい曲とは
- ・自分自身のレクイエムを奏でることで、究極の生への目覚め
- ・本当の使命はなにか
- ・ゴール、エンディング、アウトロを聴きながら静かなる覚悟を決める
- ・究極の喜び“死”から、今この瞬間に、本当にやるべき使命に目覚める

【楽曲】シューマンピアノ協奏曲 Op.54-1 など

【香りワーク】ベルガモット

一見、繊細なスパイシーな香りと言われているが、奥にあるのは安らぎを感じる効果が。人生も同じく、自分の本当の目的を知ることで今の感情もスパイスとなる。

【ストーリー】

シューマンの数ある楽曲の中で、唯一のピアノ協奏曲。シューマンの曲は聴くより実際に演奏する方がより面白いとされていることから、人生は、他人の人生を眺めるのではなく、自分で自分の人生を決めて生きることへの宣誓であるというのをこの始まりの章。そこには『エンディング』からスタートすることの意味がある。

◆第二楽章◆

『未来記憶という内面宇宙への出発～過去記憶スモルツアンド～』

- ・未来の記憶を思い出し、潜在意識に真の自分の姿を見出す
- ・ただ内側を見つめ、あるがまま、白紙であることを享受する
- ・うちなる母の存在
- ・闇を静かに迎え入れる
- ・感謝して手放す
- ・古い自分の死を癒す・感謝する

【楽曲】ラフマニノフピアノ協奏曲 No.2

【香りワーク】サンダルウッド

感情を鎮め、心を解き放つ。深い呼吸を取り戻しネガティブな感情を浄化してくれる。

【ストーリー】

途方に暮れるほど激しく自己主張する第一楽章と反対に無力な儂さを感じる美しい第二楽章。
無力の持つ、チカラとは。無価値から生まれる、価値とは。



◆第三楽章◆

『誕生そして出発、荘厳マエストロの秘めたロマンティズム』

- ・新しい自分の命の誕生
- ・鼓動をテンポに演奏療法
- ・新しい命の誕生日を決め歓喜の祝福を(新しい人格になりきる)

【楽曲】ショパン英雄ポロネーズ

【香りワーク】ブラックペッパー

心身に活！心にエネルギーを与えるパワフルな刺激。

【ストーリー】

華やかに再起をかける。新しい出発をするとき、自分にかかるおまじないは、力の限り派手に。馬に乗って荒野に戦うナポレオンのように。

◆第四楽章◆

『成功への狂気、達成への激情ズマニオーソの理由』

- ・成功へのサイコパスを目覚めさせる
- ・達成の狂喜を今感じ、冷めさせ、そしてまた燃やし尽くす
- ・新しい命で生きる自分を活気づける
- ・達成する自分の革新、自信

【楽曲】リスト 超絶技巧練習曲マゼッパ and ブラームス交響曲第4番

【香り】BVLGARI MAN

サイコパスを感じさせる禁断の香り。そのカリスマ性は性別を超えて人々を魅了させる。

【ストーリー】

絶対の自信家といわれたブラームス。その陰にはカリスマ・リストへの憧れや特別な思いがあった。ブラームスは言ったはずだ。成功への自信？そんなもの考えたことないね。ただ自分の中にあるのは、狂気に満ちた旋律が流れているだけだ。そこにはきっと確かに存在したであろう、リストの狂気じみたピアノ。プロのピアニストを今も迷わせるという、リストの超絶技巧練習曲から、感性に問いかけていく。

◆第五楽章◆

『自分を癒し、愛に濡れる未来の香り。歌うカンタービレ』

今日のあなたの中にどんな音が流れていますか
今どんな音楽が1番合いますか?最近よく聴く曲は?(ジャンル問わず)
…などから、スケーリングしてのセッションに入る

【楽曲】イルマ River flows in you

【香り】ゼラニウム⇒
心身のバランスを整え、今の自分の心身の状態を知ることができる。

【ストーリー】
音は自分の心を表す。愛する気持ちも孤独も喜びもむなしさも。
いつだって音楽が心に流れている限り、私たちは生きることができる。



◆第六楽章◆

『刺すアパッショナートの美しさ』

自己破壊欲求 × 自己破滅欲求 = 究極の自己実現』

・心に潜む悪魔との対話、破壊との和解が真の実現をもたらす

【楽曲】アレグロアパッショナート ショパンスケルツォ第一番

【香り】ヒソップ⇒
聖書でもイエスキリストが罪深き者の穢れを拭い去りその魂を浄化する際使われたという

【ストーリー】
自分を殺せるなら殺してみたいときがある。殺される快感が存在するならば、その先にあるものは、きっと光だ。まるで牢獄の窓に差し掛かる一寸の光のように。



◆第七楽章◆

『自己愛と祈り～愛する人の愛する世界も愛すること～』

- ・讃美歌で目覚める、愛の統合
- ・愛する人の愛する人をも愛する、愛の時空越え

【楽曲】讃美歌『聖なるかな』

【香り】ジャスミン⇒
愛、慈悲、情熱

【ストーリー】

愛と祈りの神の声を聴くとき、人々はどんな涙を流すのだろう。神に包まれるあたたかさを讃美歌という観点から紐解いていく。



◆第八楽章◆

『限界という未知の可能性～自分の中の憎しみを愛する～』

- ・ドリームキラーを知り、彼の本当の夢を叶えてあげる
- ・自分の中の闇を愛するとともにその光を感じる。

【楽曲】リスト ラ・カンパネラなど

【香り】クリスチャンディオール Poison

【ストーリー】

ドリームキラーこそが真の自分の投影。限界をどう設定するのか。この曲を聴くとき、演奏の限界は無限であることがわかる。自分の可能性も無限であるなら、この際堂々とドリームキラーを迎え入れようではないか。

◆第九楽章◆

『心の奥底に秘めている～エネルギーの神秘ミステリオソ～』

【楽曲】ベートーベン 月光

【香り】イランイラン⇒

不安や絶望の緊張を解き放ち、幸せな気分へ導く。フローラル・ハイな自信を取り戻す。

【ストーリー】

静かな静かな力強さ。果てしなく秘める思いの美しさ。色々なテンポで表現することにより、より心の表情が浮き彫りに。

◆第十楽章◆

『ザ・ライブ～記憶のサイズ調整で異次元思考～』

催眠×洗脳 ボリューム MAX の難聴ワーク

(誓約書にサインをいただきます。予めご了承ください。)

【楽曲】シークレット

【ストーリー】シークレット

◆第十一楽章◆

『母の憧れ～自分の中の相手を愛する香りの投影～』

遠い記憶を呼び戻す。その頃の自分の感じていたものは？

【楽曲】シューマン トロイメライ

【香り】石鹸の香り、空の香り、四季の香り

【ストーリー】

優しい母の顔。笑い声。そして自分の知らない母の色気。人知れずこぼした涙もあっただろう。母との思い出は美しいばかりでなくてもいい。最後にきつと残るのは、自分の中に確かに存在する、母の血だから。

◆第十二楽章◆

『メタトロン～自分の変化を静寂で知る～』

・波動測定器メタトロンで細胞の変化を確かめ、さらに強化



◆第十三楽章◆

『光り香り共感覚～ハイビスカスと海五感の旅～』

- ・どの五感が優位か確認して変化させる
- ・『旅』という視点で感情を開放する。

【楽曲】ハワイの歌 He Mama'o Aloha E ku'u Lei

【香り】ココナッツ⇒

ハワイの海を想像し、甘く幸せな香りを嗅ぐことで五感を刺激する

【ストーリー】

ハワイに伝わる歌の本当の意味、慈愛に満ちた自然への恵みと感謝の気持ちを感じ、自身の感性に問いかける。



◆第十四楽章◆

『脳のテンポを倍速にする秘密のメトロノーム～共振現象解説～』

- ・自分の夢の速さで表す体感する。リズム感、躍動感。
- ・一番速い速度と一番遅い速度の共通点とは。

【楽曲】ドビュッシー トッカータなど

【ストーリー】

印象派を代表するドビュッシーですが、この曲は『印象』を超え『意志』を感じさせる。脳のテンポ感を自分で設定するという意志は、その人の印象までを変えるということ

◆第十五楽章◆ 『救世主メサイアの鏡』

- ・身近な人の救世主になるという視点から人格を再度作っていく

【楽曲】ベートーベンピアノ協奏曲『皇帝』第2楽章

【ストーリー】シークレット



◆第十六楽章◆ 『人格移調反転メロディの法則～』

【楽曲】ショパン 別れの曲

【ストーリー】シークレット

◆第十七楽章◆

『シークレット・レッスン～物語から紐解く、果てしない感性の追求～』

・自伝映画、小説のストーリーを一緒に考え、本当に愛に満たされた人生の創造

【楽曲】映画音楽

【ストーリー】シークレット

◆第十八楽章◆ 『死後の世界～永遠の命～』

- ・死んだ後の世界にメロディという魂を残し、生けるものすべてを愛で満たす
- ・そもそも自分が生まれなかった世界とは…から生まれた理由の再定義

【楽曲】ショパンノクターン 遺作 嬰ハ短調

【香り】フランキンセンス⇒

穢れを取り払い心を鎮め浄化する。キリストが生まれたときに儀式に使われたという神格化に欠かせないといわれた香り。古代エジプトではミイラを葬るときあたり一面に撒かれたという説も。

【ストーリー】

ショパン遺作は、名前の通り、ショパンの死後に発表された曲。死後なお今もその甘美な旋律を聴くとき、ショパンの魂が人々の心に生きていることを知る。

自分の死後に残るものは何か。遺したいものは何か。その観点から人生観に問いかけていく。



◆第十九楽章◆

『コンフォートゾーンという病～不協和音の闇に光を～』

- ・認知的不協和の解説

【楽曲】ドビュッシー 水の反映 ・半音階のための練習曲

【ストーリー】※シークレット



◆第二十楽章◆

『記憶と感性～絵から見る未来の天才的自分像～』

- ・アートセラピーを通して
- ・ここまでやってきたことを振り返り、第〇章へ戻り繰り返す、すると面白い答えが見つかる

【楽曲】ラヴェル 亡き王女のバヴァーヌ

【ストーリー】

フランス人として生まれたラヴェルだが、スペインの要素を盛り込んだ曲を数多く残す。それはスペイン人だった母を心の支えにしていたのではないか。晩年事故により記憶を失った彼がたまたまこの曲を耳にしたとき、いい曲じゃないかとつぶやいたと言う。自分が作ったとは知らずに。奥にある母の愛を感じたからではないだろうか。記憶と感性に問いかけるアートセラピー。

◆第二十一楽章：最終章◆ 『タイムトラベル・メロディ』

「今こそ奏でる、真のイントロダクション

～時間は未来から過去に流れ、

そしてすべてが今ここに存在することを知る～」

【楽曲】マーラー 交響曲 第五番 4 楽章

【ストーリー】

マーラー交響曲の中で最も頂点といわれるこの楽曲。幅広い音域と重圧感が人生の集大成を表す。人生の求めるものは、ドラマチックでもなく華やかでもなくただそこに自分が存在することを認めるものかもしれない。そこにひたむきに流れる音楽がただただあれば、それはきっと、ため息が出るほどの美しい物語になるのだろう。



◆コーチは未来への伴走者、そして伴奏者

「ともに走り、ともに奏で、あなたの未来に寄り添います。」

心を捧げ、心でコーチングをする、

私が伝えたかったことはたったひとつ、

あなたの心に寄り添う本当のコーチングを届けること…



自分も想像していなかった自分に出会うとき、奥底に眠っていた自分の可能性に胸が震える瞬間があるだろう。

音楽の力は無限であると同時にあなたの力もきっと無限であるということ。

あなたの感性全てを包み込み

あなた以上にあなたの未来を信じています。

「音楽セラピーコーチング」

講師：池垣さよこ

lushare2020@gmail.com

※セラピー・コーチング内容・開催についてのお問い合わせは、こちらまでお願いします。

フォレスト出版プロデュース

プロジェクト総売り上げ、過去 13 億円以上★

◆谷内和俊によるプロデュースの投下！！

メグリア・コーチングプログラム期間限定！フォレスト出版に代々伝わる元祖コーチングメソッドを「理論編」にて丁寧に解説。

核心をつく言葉の数々は、クライアントの心の奥にある光を導き出す究極のセッションと絶賛されている

